

午後五時散會後八三田四國町大竹寅吉(幹部)方二裕子
友誼團體應援者十人接見所ニ充ナ居レルが過般由東
鐵工組合理事會ニ於テ第議常任委員設置以來右委員
等ハ經來最高政策ニ參照ニル爭議團最高幹部ニ協議
スル事ナク極秘裡ニ計画ヲ立て居ルヲ以テ之等最高
幹部殊ニ惹起會選出ノ幹部等ハ組合幹部、專横ノ慣
慨ニ居ル模様ニ云テ全幹部、統一ヲ次々ル傾向ヲ示
シ来レリ

(四) 法音幸男子部

連日百五十名乃至百八十名參集之逐日減少シ、ア
ルヲ以テ幹部ハ極力參加ニ懇意ニ居レリ而ニテ總手
計画ハ本部ニ於テ之を行フヲ以テ寄附金行商隊、
模様ヲ報告スル外友誼團體員、激勵演説ヲ為スル外

(八) 親隣館女子部

連日百四十名(組合員十日ハ八十名)參集毛參編物載
繼等、内職ヲ為ス外ニヤ、才能が之等、練習ヲ為サ
シテ時々館主セドオルト、精神講話アリ八日八集
地盤踏査病院看護婦長、看護法、講話九日八子供、
會子供之女工日給社員、児童、為ニ體安講演ヲ爲ス
等皆下女不部員、動辭ハ第議員之集合ト見ル、感
十夕單ニ普通ノ會合、如ク全ク氣勢、揚リ、見大争
議團幹部ハ只女子、結束ヲ望ム為ス時、四五名、幹
部來場之交々激励、努力居レリ

(二) 行商隊・行動

X日試験的行商、好成績ヲ得活氣ヲ呈シ八日八四人